



全大教青年部総会・学習会へ行ってきました



12月3,4日に全大教青年部総会・学習会があり、熊大より僕と工学部のK-1アビディことT君とで参加してきました。ネタ的には少し報告が遅れましたが、よろしかったら御一読くださいな。

まず一日目ですが、学習会ということで、今年度の人事院勧告に基づく給与実態について、全大教元委員長の和田せんせ@名古屋大学より説明がありました。僕自身、参加して思ったことなんですが、今回の人事院勧告の分析や給与改定に対する交渉活動については、熊大教職員組合はどんな組織よりもちゃんとしていて、基本的には機関紙赤煉瓦を読んでいれば、皆さんにも充分理解してもらえらる程度であると思いま



した。よって、今の時期に学習会で取り上げるテーマでもなかったかのように思えました。まあ、今までの活動のおさらいと、今後の取り組みについて考えるという感じで聞いていました。ほんと熊大職組の機関紙は、みんなにわかりやすく書かれていて、ためになるいいものですよ。



夜は青年部名物懇親会。学習会などでは声を掛けることもできなかった子たちが、お酒のせいかな??雰囲気慣れてきて、なんか出し物があるわけでもなく、ただ、ひたすらに、自分のことや仕事のことを打ち明け、夜遅くまで語り合う。これが「若者パワー」ってもんです。しかし、オイラは青年層と話す機会がほとんどなく、何やってたかという、全大教の役員組と二次会まで語り合っていました。そんななかで、全大教委員長の組織(全大教)を変えていく姿勢などを聞いていました。なんかこの辺でオイラが青年じゃないって感じがしてくるね。



翌日は総会。来年開催される全国青年交流集会や新しい役員を決める重要な総会。今まではなかなか人を集めるのが難しかったんだけど、最近若い子が教研集会などにも参加してくれるようになり、この青年部総会も近年まれに見る大盛況で、活発な意見交換が行われました。また、意見交換が行われるだけでなく、新しい役員や集会実行委員も選出され、来年度へ向けた青年部新体制が承認されました。

この総会が成立したことによって、来年の青年交流集会は開催される(場所は未定)ことですので、やまくら～ズを読んでも青年層の皆さんも、来年はぜひ参加してみてください。きっと新しい自分を見つけ出すチャンスです。そんなオイラも、98年の京都での集会をきっかけに大きく変わってしまいました。その結果がよかったかどうかは、本人のみぞ知ることです。フッフッフ～。フォ～っ!!
今回は「ぼやき」なしっ!!

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.20 2005/12/13